ボーリング柱状図

調査 名 ボーリングNO. 事業・工事名 - FNO ボーリング名 B-2(P-3) 調査位置 北 緯 36°23′25.0000″ 発注機関 栃木県栃木土木事務所 調査期間 2008-02-08 ~ 2008-02-14 東 経 139 ° 47 ' 40.2800 " ボーリン グ責任者 コック鑑定者 主任技師 調査業者名 代理人 ハンマー 落下用具 地盤勾配 使用機種 孔口標高 36.94 m 試 錐 機 角 方 上 鉛 水平 0° 90° 90°東 下 向 総掘進長 13.45 m 度 エンジン ポンプ 孔内水位 標準貫入試験 原位置試験 試料採取 標層深 柱 土 色 相相 地層岩体区分 室 掘 深 10cmごとの 打 打撃回数 撃 深試採 深 試 験 名 および結果 対対 内 進 質 尺高厚度 状 度 度 度 料 取 (m) X 密稠 試 月 0 10 20 番 方 义 分 調 度 度 事 測定月日
 I
 I
 I
 貫入

 10
 20
 30
 量
験 日 値 Ν 号 法 (m) (m) (m) (m) (m) 10 20 30 40 50 径 5-50mmの亜円・亜角礫主体 マトリックスは細砂-粗砂で充填 所々に径 50mm前後の粗礫混入 希に径 100-200mmの粗石あり 河川の氾濫により乱れている 孔壁の自立性低い 砂礫 (GS) 4 16 11 31 30 02/13 3.86 含水比・粘性中位 径 5~30mmの礫混入 ---- 礫混じり ---- 粘土 ---- (CH-G) -5 14______31 径 5-50mmの亜円・亜角硬主体 マトリックスは細粒土 - 粗砂で充 頃 所の私土分・砂分優位 所とに径。60mm前後の粗磯あり 趣削中は湯水状態 12.55-13.15m間砂質粘土層挟む 孔壁の自立性低い 粘土混じ 36 13 50 30 50 41 30 灰褐 41 密な 00 孔内水平載荷試験 3.88E+04 -10 物理試 33 -11 44 30 -12 12.00 48 -13